

廃校施設の活用状況

(平成19年10月1日)

施設の名称	アルテピアッツァ美唄(アーツスペース)	市町村名	美唄市
概要	<ul style="list-style-type: none">・用途：芸術文化交流施設・活用開始年月日：平成4年7月10日・廃校年月日：昭和56年3月31日・旧学校名：栄小学校(屋体)		
建物	<ul style="list-style-type: none">・構造：木造一部鉄骨造2階建・建築面積：526.86㎡・延床面積：616.29㎡	運営状況	<ul style="list-style-type: none">・主な利用者：美唄市民及び市外からの来訪者・利用者数：32,692人/年(H18年度実績)
運営主体	<ul style="list-style-type: none">・名称：美唄市教育委員会・形態：指定管理者(NPO法人)		
事業内容・活動状況等			
<p>『アルテピアッツァ』とはイタリア語で『芸術広場』を意味します。</p> <p>『アルテピアッツァ美唄』にはイタリアに創作活動の拠点を置き世界を舞台に活躍している、美唄出身の彫刻家安田侃氏の大理石やブロンズの彫刻作品が野外・校舎・体育館に41点常設展示されており、自然や校舎の中に溶け込んでいます。</p> <p>30,000㎡を越す広大な敷地内には、大理石で造られた舞台・人工の池、流路からなる「水の広場」を配置することで周辺の緑豊かな自然環境を背景とした野外公園として、広く利用されています。天気の良い週末には小さな子供を連れた家族の姿が多く見受けられ、広場は子供たちが走り回り、水遊びのできる空間に変わります。</p> <p>廃校になった小学校の校舎の1階部分は市立幼稚園とし現在も使用しており、園舎いっぱい園児の元気な声が響いています。2階部分の市民ギャラリーは安田侃氏の彫刻作品を常設展示すると共に幼稚園児を始めとした児童生徒の作品発表の場として、また文化サークル・団体、個人の作品展示発表の場として活用されています。</p> <p>体育館は、安田侃氏の彫刻作品を常設展示しているほか、特徴的な活用方法として300人程度の収容可能なコンサートホールとしての使用があげられます。これまでに、山下洋輔ジャズコンサート、林峰男チェロコンサート、谷川俊太郎詩の朗読と音楽の夕べ、大岡信文化講演会等各界をリードする一流のアーティストが、独特の雰囲気の中でアットホームな心通った事業を展開しております。</p> <p>平成15年7月には天皇皇后両陛下がご来訪され、名実ともに当市を代表する施設です。</p>			
場所・連絡先			
<ul style="list-style-type: none">・住所：〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町・アクセス：JR美唄駅から市民バスで約20分(落合町栄町アルテピアッツァ美唄駅下車)道央自動車美唄インターから右折し、約2km・Tel/Fax：0126-63-3137・63-2082 / 0126-62-0509・電子メール：arte@fancy.ocn.ne.jp・ホームページ：www.city.bibai.hokkaido.jp/life/sisetu/no31.htm			